憲彦への手紙

～母からのメッセージ～

憲彦
元気にして
いますか？

四十八歳の
お誕生日
おめでとう

赤ん坊だった
お前も もう
そんな歳になった
のですね

無我夢中で
お前を育ててきた
私も いつのまにか
だいぶ歳をとりました

機会があれば
お前の子ども時代の
ことをどこかに書き残して
おきたいと思っていたのですが
お前のお誕生日祝いに
お友達が良い機会を与えて
くれました

知っていることも
もちろんたくさん
あるだろうけれど

あの時お母さんは
こんな風に思って
いたんだという
気持ちでこれを読んで
くれたら嬉しいです

お前が生まれる
二年前――
わが家にはとても
ショックな事件が
ありました

え？
逆子ですか？

産婦人科

初産でお腹に宿していた子どもが逆子だと告げられたのです

大丈夫ですよ逆子を治す方法はたくさんありますからね安心して我々にまかせて下さい

不安に感じながらもお産の直前にはほぼ治ったと医師が言うので

大丈夫かな

そのまま自然分娩で産む事になりました

しかしその言葉は単なる気休めでした

ギャアアいたい!

がんばって!もう少し!もう少し!

逆子は全然治っていなかったのです

逆子の出産は想像を絶する苦しみでした

母親の私もチアノーゼのようになりキケンな状態でした

産まれてきた赤ん坊は仮死状態で
まもなく息を引き取りました
お父さんは泣きじゃくり
赤ちゃんの顔を見る事もできず苦しみだけを味わった私はただ呆然としていました
その二年後に生まれたのが憲彦 おまえです
お前はお腹の中で順調に育ち
昭和四十一年五月三日元気な産声をあげました
オギャア
オギャア
オギャア
なんてまあ大きくてかわいい子だろう！
お兄ちゃんのぶんまで元気に生きるんだよ！
そのときの喜びはもう言葉では表せないほどでした

憲彦は みんなから「のり」「のり」とてもかわいがられました

特に おじいちゃんは 目の中に入れても痛くないほど かわいがり

あちこちに 連れて行ったり つきそいをして 育児を 手伝って くれるなど くれました

しかし 私自身が 育児に慣れず

試行錯誤の くり返しでした

特に困ったのは はじめのうち 順調に出ていた 母乳が

だんだんと 出なくなって しまったことです

やむなく既成の ミルクに切り替え ましたが

身体に合わないのか 与えるたびに噴水の ように吹き出して しまいました

しかも憲彦は胃腸が弱くたびたび熱を出したので

えーん ポンポンいたいよ

小児科へ通う日々が続きました

当時通っていた木村小児科は早くから番号をとらねばなりません

ピヒュ ピヒュ

朝お父さんが病院に行きあとから私が憲彦を連れて行き

たなかさ〜ん

たなかさ〜ん

病院はいつも夫婦で半日がかり…

こんなに身体が弱くて無事に育つのかしら

ハァ ハァ

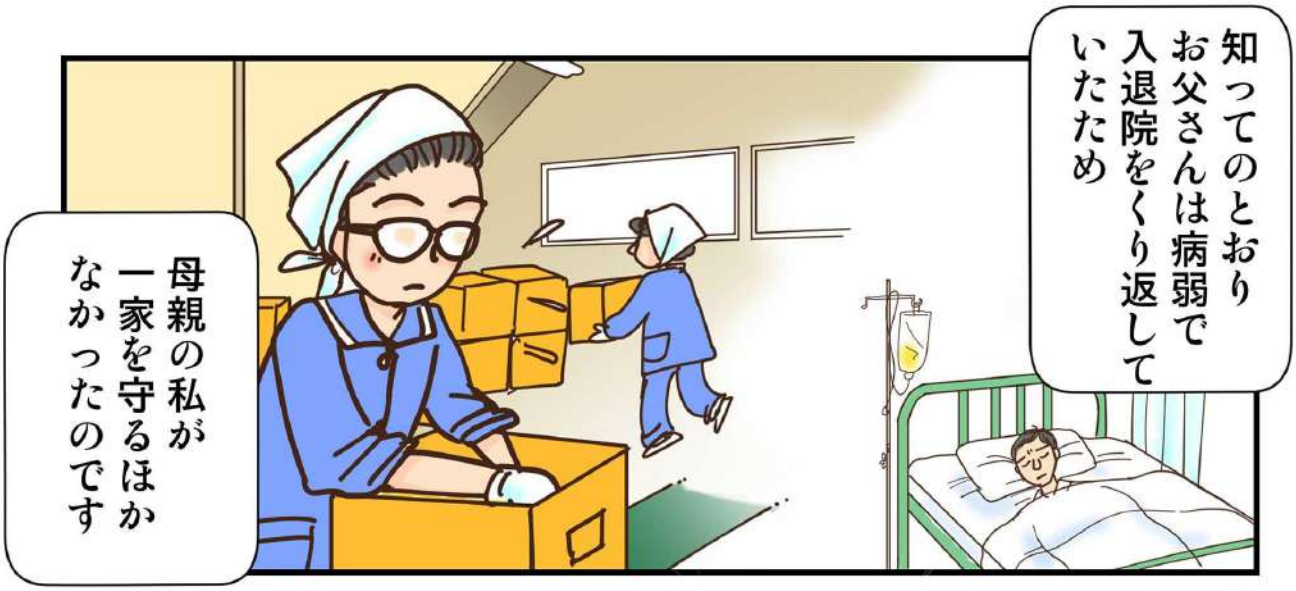
小学校にあがるまではそんな日が続き不安になることもありました

小学校にあがった頃から段々と身体が丈夫になってきて ひと安心しました

小・中・高とたくさんのスポーツに挑戦しメキメキと頭角を現したのには

親の私も驚きました

鵠沼の水泳教室では藤沢の代表で二位になりましたね
賞状
賞状を大切にとってあります
野球 柔道 サッカーと
のりひこがんばれ！
あらゆるスポーツの大会に出場し憲彦は成績を残しましたね
あれだけスポーツにうちこんでいたのに
掲示板
中間試験成績
成績もなぜか悪くなかったですね
1年生
1位 林 修
2位 山口憲彦
3位 小泉今日子
本当にのりちゃんいい子ねぇ
山口さんどうやったらあんな風に育つの？
憲彦がほめられるたびに私は自分のことのように嬉しくなりました
思えばあの頃私は自分のことを後回しにしていつも家族のためにがんばっていました


知ってのとおり
お父さんは病弱で
入退院をくり返して
いたため
母親の私が
一家を守るほか
なかったのです

家計が苦しいから
といって憲彦には
恥ずかしい想いは
させたくないと
心に誓い…
小学校
入学式
1-2

家族のことを思い
人並みのおしゃれを
するのも
我慢しました
美容室

幸い憲彦の試合が
あるときは
おじいちゃんが
遠方まで
付き添ってくれて
だいぶ助かりました
のりー
がんばれ！

本当はもっと
そばにいて一緒に
応援をして
あげたかった…

今日の
試合は
勝ったか
なぁ

それが今でも
心残りです

でも憲彦がとても
素直な子だった
おかげで

反抗期で苦労する
ことは全く
ありませんでした

覚えて
いないかも
しれませんが

サッカーの
チームに所属
していた頃…

ある時 大事な
試合の直前に
たまたま英語の
塾の日が重なった
ことがありました

試合あるから
明日休もう
かなぁ

ダメよ！塾は休まないで行きなさい！
は～い
憲彦は私の言うことをきいて
その日英語の塾に行きましたが
じつは私は自分の言ったことをあとでとても後悔したのです
よく考えたら憲彦はキーパーでチームにとって欠かすことのできないメンバーだったはず
塾なんて一回ぐらい行かなくても何とでもなったのに
あのときどうしてそんなことを言ってしまったのかと

いつも素直で優しい憲彦に
親のほうが頭が下がる思いでした
賞状
最優秀選手
山口憲彦殿
スポーツ推薦で中央大学の寮に入っていた頃のことで忘れられないできごとがあります
一度だけひどく落ち込んだ様子で帰省したことがありましたね
先輩のしごきが厳しくて…
全然思っていたようなところじゃなかったよ
もう…辞めたい…
珍しくそんな悩みを打ち明けてくれました

そうなのね…せっかく推薦で入ったのにもったいないなぁ
でもこればっかりは憲彦が決めることだし…
しかし憲彦は私が仕事や家事を黙々とやっている様子をしばらく見た後…
私は続けなさいとも辞めなさいとも言いませんでした
……
それきり何も言わず 黙って寮に帰っていきました

もちろん当時憲彦がどんなことを考えていたかは知る良しもありませんが

晩年そのことを憲彦のお友達に話したら…

そんなことがあったんですね

もしかすると昔のことを思い出したのかもしれませんね

え？

必死になって働いて自分のことを支えてくれたお母さんの姿を見て

こんなことでへこたれて泣き言をいっていられないって…

決して…

決してあきらめてはいけないと

思ったのかもしれませんね

そんな風に思ってくれたのだとしたら

当時の苦労が報われます―

そんな憲彦も
今では立派な
大人になり

二人の子どもを持つ
立派な親なのだから
月日がたつのは
早いものですね

かわいい孫たちが
おばあちゃんを
慕ってくれるので

会うのが
とても楽しみに
なりました

ばーちゃん
めしくだかー？
ばーちゃん
おえかきしよー

会社の社長として
責任のある
立場となり
毎日忙しそうに
していますが

不規則で
外食ばかりで
病気にならない
かと
親としてとても
心配です

離れて暮らしていても 時々おまえの顔が思い浮かびます
やあ！
元気で暮らしているのかねぇ
おまえはやさしいから帰ってくるたび私の身体のことを気遣ってくれますが
まあ！
HOT
おまえの人生が健康で幸せなら
私もずっと健康で幸せなのですよ
最後になりましたが憲彦
私の息子に生まれてくれて本当にありがとう
いつまでもおまえの幸せを祈っています——

発行日　2014年５月３日
責任者　山口くんの友人一同
安田哲雄　安田和美　山本拡之　金子誠　弘瀬郁子
湯川由紀代　冨澤旭　成田弘幸　鹿倉大輔　真壁佳秀
田山忍　鈴木隆広

漫画企画・制作 MARUINAミニまんが制作所
構成／稲庭ぱすた・作画／山田うさこ